

# もよたの 子ども食堂



## はじめに

この冊子は  
子ども食堂を知ってもらうためにつくりました。  
子ども食堂は、子どもの居場所の1つです。

「自分で立ち上げたい」と思ったり、  
寄付やボランティアをするきっかけにしていただけたら幸いです。





# 子ども食堂ってどんな場所??

豊田市内では、市民による自発的な地域活動の一つとして「子ども食堂」が広がっています。

子ども食堂は、子どもたちにとって、家でも学校でもない地域の居場所であり、**地域の人たちと交流しながら調理や食事を通して、さまざまな学びや体験ができる場**になっています。

そこに集う子どもたちや子育て家庭のためだけではなく、地域の大人のいきがいつくりの場として、学生の社会体験の場として、地域の交流スペースとして子ども食堂は多様な役割を担っています。



## 子ども食堂の多様な役割

多世代交流の場



学びや体験の場



地域のコミュニティの場



子どもたちの交流の場



# もくじ

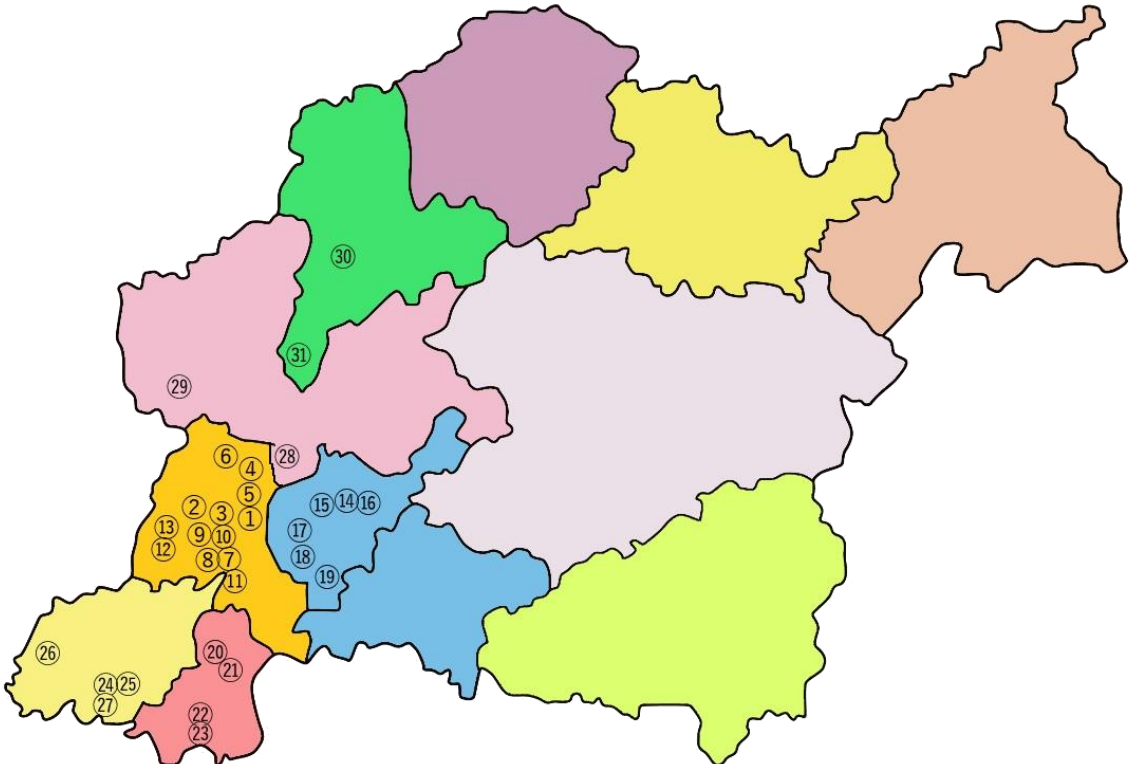


地区	中学校区	子ども食堂名	ページ
挙母	崇化館	①ぬくもり☞ネット	4
		②ひまわり邸食堂	5
		③わかしゃちハウス	6
	梅坪台	④うめつぼ食堂	7
		⑤スフィアキッチン	8
	浄水	⑥逢妻っ子 こどもの茶の間	9
	朝日丘	⑦子ども食堂、おばあちゃんとお抹茶体験	10
		⑧龍の子	11
		⑨子どもカフェ まんぷく	12
		⑩山二食堂	13
	逢妻	⑪しもいちばわいわい子ども食堂	14
		⑫きらりん	15
	高橋	高橋	⑬アイビーの庭
⑭クックくらがいけ			17
⑮JA高橋テラスゆうきの会			18
美里		⑯もぐもぐ子ども食堂	19
		⑰東山ぐうぐう食堂	20
益富		⑱ビストロスマイリング	21
上郷	末野原	⑲さくらんぼ	22
		⑳子どもとつくる10代子ども食堂「ゆるっと ほっと かふえ」	23
	上郷	㉑あそびとくらしとまなびの家 ちゃぽっと	24
		㉒郷の里	25
		㉓柘塚西町多世代サロン型子ども食堂	26



地区	中学校区	子ども食堂名	ページ
高岡	若林	㉔こども食堂 さんぼみち	27
		㉕エンジェル子ども食堂	28
	前林	㉖前林ひまわり食堂	29
	若園	㉗おおぞらランチ	30
猿投	猿投台	㉘チーム トジャク	31
	保見	㉙朝ごはん子ども食堂	32
藤岡	藤岡	㉚RAINBOWカフェ	33
	藤岡南	㉛ふじおか子ども食堂	34

## 子ども食堂マップ





# ① めくもり♡ねっと

《特徴・テーマ》

## 「食」と「あそび」を通しての居場所づくり

### 実施概要

#### 運営者

めくもり♡ねっと  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

崇化館交流館  
(豊田市昭和町2-46)

#### 開催日時

第3土曜日  
11時～14時

#### 対象者、参加費

拳母小学校4～6年生  
子ども100円

#### 開始時期

令和元年5月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

高校生、大学生、一般

めくもり♡ねっとは、子どもたちの居場所であり、ひとりひとりを丁寧に受けとめ、見守りながら“食”や“あそび”を通して地域の方々とふれあうことのできる場所です。

子どもが、安心できる居場所でありたいと思い活動しています。

### 始めたきっかけは何ですか？

主任児童委員として、活動をしていくなかで、貧困・孤立等を理由に居場所を必要としている子ども達がいることに気づき、地域において助け合いや見守りが必要であると感じました。いろいろな立場の人達とネットワークを築き、子ども達の成長を応援したいと思いました。

### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

子どもの居場所づくりや子ども食堂について知識が少なく、市役所や社会福祉協議会に相談をしたり、メンバーと研修を行いながら、1年かけて立ち上げました。

### やりがいを感じるのはどんなときですか？

子ども達が元気に参加してくれて、友達同士で会話をしている姿を見ると、とても嬉しいです。また、子ども達が、嫌いで食べられなかった物が食べられるようになった姿を見たときも嬉しくなります。地域の企業や個人の方に応援していただくとやりがいにつながります。

子ども食堂の回数を重ねると、家庭でも、「子ども食堂の経験を活かし、調理・配膳・片づけなどを手伝っている」と聞き、子ども達が成長していると感じます。

これからも継続していくには、「居場所」と「食」を通じて多世代交流へと活動の輪を広げ、意図的なつながりを作ることの必要性を感じています。



## ② ひまわり邸食堂

《特徴・テーマ》

**地域の子ども達が気軽にふらっと立ち寄ってもらえる場**

### 実施概要

#### 運営者

地域密着型複合福祉施設  
ひまわり邸

#### 開催場所

特別養護老人ホーム  
ひまわり邸  
(豊田市栄生町5-20)

#### 開催日時

コロナウイルスにより、  
活動休止中※要問合せ

#### 対象者、参加費

幼児	50円
小中学生	100円
大人	200円

#### 開始時期

平成30年7月

#### 支援・寄付のお願い

#### ボランティア募集

高校生、大学生、一般

ひまわり邸食堂は、地域の方と施設入居者がつながる居場所を目指しています。

ボランティアの方と一緒に企画などをしていながら、地域の方に気軽に立ち寄ってもらえる多世代交流の場を目指していきたいと考えています。

### 始めたきっかけは何ですか？

地域密着型複合福祉施設として、地域貢献ができないかを考え、子ども食堂を立ち上げました。貧困世帯やひとり親家庭の子どもの居場所だけでなく、地域の方と施設入居者がつながる居場所になるようにと始めました。

### 立ち上げときに苦労したことは何ですか？

立ち上げた当時は、「子ども食堂」が認知されていなかったため、自治区や民生委員児童委員などの地域の方々に理解してもらうため、説明に行ったり、ボランティアなどの協力者を集めることが大変でした。また、支援が必要な子ども達に、情報提供をすることがとても難しかったです。今後は、支援が必要な子ども達にも参加してもらえるように、回数・時間帯・送迎方法などの運営方法を模索していきます。

### やりがいを感じるのはどんなときですか？

実際に始めてみると、毎回参加をしてくれる子ども達も増えて、「次はいつやるの？」と楽しみにしてくれている様子が分かったときに、開催して良かったと思います。また、準備したゲームに笑顔で楽しんでいる姿を見ると、スタッフが元気をもらっています。

### ホームページ・SNS

 <https://www.fukujuen.or.jp/>



### ③ わかしゃちハウス

《特徴・テーマ》

新しいことに挑戦しよう！子どもと大人と一緒に創る楽しい居場所

#### 実施概要

##### 運営者

わかしゃちハウス  
(ボランティアグループ)

##### 開催場所

T-FACE A 館 6 階 Y スタジオ  
(豊田市若宮町 1-5 7-1)

##### 開催日時

第 2 日曜日  
11 時～15 時

##### 対象者、参加費

元城小学校の子ども 100 円

##### 開始時期

令和 4 年 6 月

#### 支援・寄付のお願い

##### 寄付のお願い

肉、寄付金

##### ボランティア募集

高校生、大学生、一般

わかしゃちハウスは、調理だけではなく工作やゲストを招いたイベントを計画し、子どもが知識と経験を深めてもらいこれからの将来につながることを目指しています。子どもにとって安心できる居場所のなかで、多世代の方々と関りながら自分を認め新しいことに挑戦をする気持ちを育みたいという思いで活動しています。

#### 始めたきっかけは何ですか？

身近にひとり親家庭やヤングケアラーの子どもがいて、私自身も家や学校に居場所がなく、周りに頼れる大人がいなかった経験から、子どもに手を差し伸べられたらという思いから始めました。メンバーは、私の思いに共感してくれたママ友が中心となっています。

#### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

会場が決まらず苦労しました。会場費や設備などの問題で探すのに半年かかりました。また、立ち上げ時は不安が多く、社会福祉協議会や市役所の協力もあり立ち上げることができました。

#### やりがいを感じるのはどんなときですか？

子ども達が毎月楽しみにして来てくれることや、一緒に調理や工作を行うなかで「おいしい」「できた」などの喜びを一緒に共有できることがやりがいになっています。

また、子どもと関わる時間を多くもてるように工夫し、子どもの思いに共感しながら話をしたり、楽しい時間を過ごせることを目指しています。

#### ホームページ・SNS

 bvd5080t





## ④ うめつぼ食堂

《特徴・テーマ》

ミニ講座+朝食で、誰かのために役立つ食堂を目指して

### 実施概要

#### 運営者

うめつぼファミリークラブ  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

デイサービスよっといでん  
(豊田市西山町2-38-1)

#### 開催日時

毎月第3日曜日  
8時30分～12時

#### 対象者、参加費

梅坪中学校区内に在住  
子ども 100円  
大人 200円

#### 開始時期

平成27年10月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

小学生、中学生、高校生  
大学生、一般

うめつぼ食堂は、地域にたくさんの顔見知りを増やして、誰かのために役立つ食堂を目指しています。

ミニ講座+朝食のスタイルで、地域のニーズに合わせて対応していきます。もちろん講座に参加せず、ふらっと気軽に遊びに来られるようにしています。

### 始めたきっかけは何ですか？

超高齢社会のなかで地域力を強めていきたいと思いました。多世代が交流するなかで、「高齢者の方が活躍する場所があったらいいな」「子ども達が楽しみながら大切なことを学べる場所があったらいいな」「現役世代が地域の活動を知り、参加してもらえたらいいな」などの思いから始まりました。


### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

食べ物を扱うため、開催する内容も場所も限られてしまうことや、「子ども食堂は貧困世帯のもの」という認識がまだまだ強く、「豊田市には関係ないのではないか？」という意見が多かったです。

### やりがいを感じるのはどんなときですか？

「一度来た方がまた来てくれる」「食事が美味しいと言ってもらえた」「ボランティア仲間が増えた」「みんなが笑顔になった」というときにやって良かったな、と思います。

### ホームページ・SNS

 427vfupo



## ⑤ スフィアキッチン

《特徴・テーマ》

個性や特徴をもった子どもが、チャレンジできる場所を一緒につくろう！

### 実施概要

#### 運営者

スフィアキッチン  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

障がい者福祉会館  
(豊田市西山町5-26)

#### 開催日時

毎月土曜日  
11時30分～13時30分

#### 対象者、参加費

豊田市内の障がい児  
子ども 100円  
大人 300円

#### 開始時期

令和3年12月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

大学生、一般

外国人家庭・生活困窮家庭を含めた、様々な方に参加をしてもらい、子ども食堂を通して必要としている情報を繋げてあげられることを目指しています。

### 始めたきっかけは何ですか？

障がい児の子どもが周りに遠慮することなく、気軽に参加ができる居場所をつくりたいと思い始めました。

一緒に参加する親も参加している時間はゆっくりと過ごしてほしいと思い、1家庭1人のボランティアがつけるように工夫をしています。

### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

ボランティアメンバーを探すのに苦労しました。

周りの人にいろいろ声をかけましたが、小さい子どもがいる家庭や仕事をしている人が多かったため、活動する時間に手伝ってもらえるボランティア探しは難しかったです。

### やりがいを感じるのはどんなときですか？

子どもたちの障がい特性を理解しながら、子どもと一緒に参加している親が安心して居場所に参加している姿をみる時。



### ホームページ・SNS

 sphere.kitchen

## ⑥ 逢妻っ子 こどもの茶の間

《特徴・テーマ》

### どんな環境にも負けない子を地域で育むお手伝い

#### 実施概要

##### 運営者

こどもの茶の間応援隊  
(ボランティアグループ)

##### 開催場所

県営逢妻集会場  
(豊田市逢妻町3-33)

##### 開催日時

原則第2日曜日  
11時～14時

##### 対象者、参加費

逢妻県営団地に在住  
子ども 無料

##### 開始時期

令和2年2月

#### 支援・寄付のお願い

##### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

##### ボランティア募集

大学生、一般

逢妻っ子 こどもの茶の間は、子ども達に勉強だけでなく、食事だけでもない、社会で生き抜く知恵を様々な体験の中で培うことを願っています。

面白いことをたくさん経験してもらい、心を満たす場所でありたいです。

#### 始めたきっかけは何ですか？

メディアでひとり親家庭の特集をしているのを見たときに、「ひとり親家庭の人が『月に数回ご飯を食べられないことがある』という話をしている」のを見て、グッと胸にくるものがありました。県営住宅に住み、区長を9年間している経験から、「まずは立ち上げなければ何も始まらない」と思い始めました。どんな環境にも負けない子を地域の力で育むお手伝いがしたいと思っています。

#### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

ひとり親家庭の子どもを中心に、子ども達を募集することが難しかったです。また、ボランティアの協力を得ることも難しかったです。

#### やりがいを感じるのはどんなときですか？

子どもやボランティアが、元気に明るく子ども食堂に来てくれて、一生懸命に調理をしている姿を見たときや、「ありがとう」と言われたときに嬉しい気持ちになります。しかし、新型コロナウイルスの影響で思うように活動ができていないので、現在はフードパントリー活動をしています。

まだまだこれからだと思っています。

まずは、雰囲気の良い子ども食堂を作りあげていき、それが口コミで広がって、多くの子どもが参加してくれる場所になることを目指しています。



## ⑦ 子ども食堂、おばあちゃんとお抹茶体験

《特徴・テーマ》

### お抹茶の師範の経験を活かし、子ども食堂でお抹茶体験

#### 実施概要

##### 運営者

おばあちゃんとお抹茶体験  
(ボランティアグループ)

##### 開催場所

代表者宅

##### 開催日時

第4水曜日  
16時～19時

##### 対象者、参加費

朝日丘中学校区内に在住  
子ども 100円

##### 開始時期

平成31年4月

#### 支援・寄付のお願い

##### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

「おばあちゃんとお抹茶体験」の名前のとおり、お抹茶の体験ができる子ども食堂です。

習い事の感覚で、茶道を楽しみに来てくれれば良いな  
と思い、興味のある子には作法を教えています。

#### 始めたきっかけは何ですか？

夜ひとりでご飯を食べている子どもやひとり親家庭の子  
どもを対象に、一緒に食事を作ったり、お話をしながらゆっ  
くりできる時間を作りたいと始めました。

#### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

子ども達への周知方法に苦労しましたが、市役所や社会福  
祉協議会のアドバイスや協力があったので、スムーズに立  
ち上げることができました。現在は予約制ですが、立ち上げ  
た頃は予約制にしていなかったため、参加者が来るのか来  
ないのか分からず困ったことがありました。

#### やりがいを感じるのはどんなときですか？

子どもが毎月楽しみに参加してくれる様子を見たときや、  
一緒に料理することを楽しんでくれているときです。また、  
茶道の稽古を真剣にやる表情や、習ったことを活かして抹  
茶をたてている姿を見ると、子どもの成長を感じて嬉しく  
なります。

茶道に興味をもってくれる子どもが多かったことに驚きま  
した。

今後は、子どもが近所の大人と気軽に話せる場所を目指し  
て、お茶会などを開催していきたいと考えています。





## ⑧ 龍の子

《特徴・テーマ》

「子どもが夢をもてるようになる」ことを目指して

### 実施概要

#### 運営者

龍の子  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

神龍寺  
(豊田市朝日ヶ丘 6-4-1)

#### 開催日時

第3金曜日  
12時～14時

#### 対象者、参加費

朝日丘中学校区内に在住  
子ども 無料

#### 開始時期

令和元年6月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

大学生

龍の子では、家庭に閉じこもりがちな子ども達が、家や学校ではない気軽に行くことができる居場所づくりを目的に活動しています。

食事を作るだけでなく、子どもが興味を持ったことに一緒に取り組んでいけるような場所にしていきたいです。

### 始めたきっかけは何ですか？

主任児童委員の研修会で、「子ども食堂」のことを知りました。家庭に閉じこもりがちな子ども達がいることを活動のなかで感じていたため、子ども達が食を通じて命の大切さを学べる場所を作りたいと思い、まずは、一歩外へ出るきっかけ作りとなるように始めました。

### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

支援の必要な子どもがわかっていても、どのように関わっていけばよいのかわからなかった。活動を続けていることで、今では学校からの紹介があり、参加人数が少しずつ増えてきています。

### やりがいを感じるのはどんなときですか？

参加していた子どもが、学校に再び行くことができ、家族がホッと安心している姿を見るとき。参加してくれていたお母さんから「子どもが自由にのびのびと遊べる雰囲気良かった」と言ってもらえて、「これで良かったんだ」と思えました。今ではそのお母さんもボランティアとして心強いメンバーになってきています。

今は月1回の開催ですが、週1回開催ができるようになることを目指しています。





## ⑨ 子どもカフェ まんぷく

《特徴・テーマ》

多年齢と関わりながら、子ども達が安心して過ごせる居場所

### 実施概要

#### 運営者

笑顔守隊  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

産業文化センター  
(豊田市小坂本町1-25)

#### 開催日時

第2土曜日  
14時30分～  
第3土曜日  
14時30分～  
第4土曜日  
11時30分～12時30分

#### 対象者、参加費

豊田市内に在住  
子ども 無料～100円  
大人 お問合せください

#### 開始時期

令和元年9月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

小学生、中学生、高校生  
大学生、一般

子どもカフェ まんぷくは、子ども達が、多年齢の方々と交流を通して豊かな心を育み、また、他者との関わりの中で社会性や協調性を身に付けることを大切に活動しています。

昔ながらの遊びを踏まえたイベントや、郷土料理や子どもにも作れるおかずも取り入れながら、子ども達を中心に楽しく過ごせる居場所づくりを目指しています。

### 始めたきっかけは何ですか？

近年では、昔ながらの向こう三軒両隣のような交流もなくなり、ひとりで食事をするといった「孤食」の子ども達も増えています。また、家庭の事情や孤食のため、好きな物だけを何度も食べるなどの「固食」の子どもも多くみられることを知り、こうした子ども達が安心して過ごせる居場所を作ろうと思い始めました。

### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

催す場所を探すことが1番苦労しました。場所が見つからず、やむを得ず、経営しているお店で始めました。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、広い場所を確保するため、産業文化センターを利用して活動しています。

### やりがいを感じるのはどんなときですか？

イベントで遊んでいるときや、料理を作っているときの子どもたちの生き生きとしている姿や笑顔を見たときにうれしく思うとともに、「子どもの笑顔に勝るものはない」と感動しています。また、忙しい保護者が多いなか、子ども達とお母さんが楽しそうに作っている姿を見て、親子のふれあいの時間を持てて良かったとも思います。スタッフが、子ども食堂のために一生懸命に取り組む姿や、時間を作ってくれていることに感謝し、スタッフの居場所でもありたいと思います。



## ⑩ 山二食堂

《特徴・テーマ》

子どもも大人も、多世代交流しながらホッとできる場所作り

### 実施概要

#### 運営者

山二食堂  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

個人宅  
(豊田市小坂本町)

#### 開催日時

毎月第1木曜日  
16時～17時

#### 対象者、参加費

どなたでも  
子ども 無料  
大人 無料

#### 開始時期

令和2年9月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

大学生、一般

山二食堂は、老若男女・貧富・国籍・すべて関係なく、どなたでも来ていただけて、どなたでも参加していただける場所を目指しています。

世代を超えた関わり合いで大家族のような温かい雰囲気を作るように心掛けています。温かい食事が、みんなで一緒に食べられるような子ども食堂を開催したいです。そして、食事だけでなく、ほんの少し心の休憩ができるような敷居の低い場所にしていきたいです。

### 始めたきっかけは何ですか？

旬の新鮮な食材を使って、みんなで一緒にご飯を作って食べたり、それだけでなく、一緒に遊んだり勉強するなど、子どもも大人もホッとできる場所を作りたいと思って始めました。


### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

立ち上げには、社会福祉協議会の支援もあったため、その都度困ったことを聞くことができました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大で、計画していた内容ができないことに困りました。最初は、食材を配布するフードパントリー活動(山二食堂では「おすそわけ会」と呼んでいます)から開始しましたが、今は食事の提供をしています。今後も活動していきながら模索していきたいです。

### やりがいを感じるのはどんなときですか？

参加した人たちから「ありがとう」と言っていただき、喜んでもらえるのが嬉しいです。また、支援して下さる企業や地域の方々のおかげで活動ができていることに大変感謝しています。

### ホームページ・SNS

 @yamani0806



## ⑪ しもいちばわいわい子ども食堂

《特徴・テーマ》

子どもも大人も工夫を凝らして、より楽しい活動に

### 実施概要

#### 運営者

しもいちば  
わいわい子ども食堂  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

下市場区民会館  
(豊田市下市場町4-40)

#### 開催日時

毎月第1・3日曜日  
10時～15時

#### 対象者、参加費

朝日丘中学校区内に在住  
または、根川小学校の子ども  
子ども 100円  
大人 300円～

#### 開始時期

令和3年3月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

小学生、中学生、高校生  
大学生、一般

しもいちばわいわい子ども食堂では、地域の子どもが家や学校でない、一人でも来られる居場所づくりを目指しています。

1年を通して四季の手仕事や、ちょっとした体験、経験をして生きる力を身につけてもらいたいと考えています。

### 始めたきっかけは何ですか？

「こどもの居場所をつくりたい!」と思い、地域の方やママ友から募集して始めました。

調理と四季の手仕事など季節に合わせたイベントもしています。

### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

立ち上げの資金作りに苦労をしました。

知り合いに教わりながら、クラウドファンディングをして立ち上げ資金を募りました。クラウドファンディングをしたことで、立ち上げ前から地域の人に知ってもらえたので協力者が増えました。


### やりがいを感じるのはどんなときですか？

子どもたちが調理やトウモロコシのもぎ取り体験をして、「楽しい」と言ってくれるときや、親御さんに感謝されたときは嬉しい気持ちになります。

定期的開催をすることで、子どもだけで参加してくれることも増えてきました。今後は、より深いサポートをしていくことが目標です。



### ホームページ・SNS

 しもいちばわいわいこども食堂

 shimoichibawaiwaikodomoshitang

## ⑫ きらりん

《特徴・テーマ》

**じぶんでつくとおいしい！みんなでたべるともっとおいしい！**

### 実施概要

#### 運営者

きらりん  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

深田山第2公会堂  
(豊田市田中町4-1-11)

#### 開催日時

原則第2土曜日  
10時～13時

#### 対象者、参加費

逢妻中学校区在住の小学生  
子ども 100円

#### 開始時期

平成30年4月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、寄付金、お菓子  
飲み物

#### ボランティア募集

大学生、一般

きらりんでは、調理について学ぶと同時に、知らない子ども同士や大人とのコミュニケーションを大切にし、居心地の良い場所になるよう心がけています。

子どもに対する丁寧な関りが必要と考え、人数制限をしています。スタッフ同士で、子どもの様子を報告し、共通認識と課題の解決に繋がります。

### 始めたきっかけは何ですか？

メディアで貧困・ひとり親家庭・不登校などを対象とした子ども食堂が話題になっていることを知り、関心をもちました。学校や自宅でない新しい場所で、子どもの居場所になるようにと活動を始めました。

### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

支援が必要な子どもに、情報提供をすることが難しかったです。また、アレルギーのある子ども・障がいのある子どもなどどこまで対応できるかを悩みましたが、可能な限り、親御さんと相談しながら見守っています。

### やりがいを感じるのはどんなときですか？

子ども達が調理を楽しそうに、真剣に取り組んでいる様子を見たときや、「今まで食べられなかったものが一口でも食べられた」と報告してくれる子どもがいたときに嬉しく感じます。あえて、他学年の子どもが仲良く関われるように席の配置などを工夫しているので、高学年の子が低学年の子をお世話しているのを見ると頼もしく感じます。また、ボランティアに会えることを楽しみにしている子どもがいることもやりがいのひとつです。今後は、家庭環境により、生きづらさを抱えている子どもへのアプローチを考えていきたいと思っています。まずは、勉強を教えられるように「アイビーの庭」(13ページ参照)を始めました。





## ⑬ アイビーの庭

《特徴・テーマ》

### 家族に寄り添いながら、子どもの学習の習慣化を目指して

#### 実施概要

##### 運営者

アイビーの庭  
(ボランティアグループ)

##### 開催場所

西部コミュニティセンター  
(豊田市本新町7-48-6)

##### 開催日時

毎週土曜日  
15時～17時

##### 対象者、参加費

豊田市内に在住  
子ども 無料

##### 開始時期

令和元年8月

#### 支援・寄付のお願い

##### 寄付のお願い

野菜、寄付金、お菓子  
飲み物

##### ボランティア募集

高校生、大学生、一般

アイビーの庭では、子ども達に勉強を中心に教えています。

子ども達に寄り添いながら、時には励まし、共感することで、子どもが日々の愚痴をこぼすことができる場所、そして自分の生き方に誇りをもって、未来に進んでいけるように又たくさん経験ができる居場所にしていきたいと思っています。「ここまでできた！やれた！」という満足感が持てる言葉がけに心掛けています。

#### 始めたきっかけは何ですか？

子ども食堂「きらりん」(15ページ)の活動をしていくなかで、外国にルーツを持つ子どもや学校に行きづらい子ども・ひとり親家庭・貧困・孤食の子どもに対して、より丁寧に見守っていきながら勉強や生活経験を学ぶことのできる環境を整えてあげたいと思ったのが始まりでした。

#### 立ち上げ時に苦労したことは何ですか？

子ども食堂を1つ立ち上げた経験から、スムーズに始めることができました。参加者は1名から開始しました。

#### やりがいを感じるのはどんなときですか？

子どもが、ボランティアと話すことを楽しみにしてくれるときです。まだまだこれからだと思っています。まずは3年活動を続けていくことです。

現在15名の子どもが参加しています。





## ⑭ クックくらがいけ

《特徴・テーマ》

調理・遊び・物づくり。楽しいことを子どもたちと共に

### 実施概要

#### 運営者

クックくらがいけ  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

高橋交流館  
(豊田市高橋町 3-100-1)

#### 開催日時

原則第4日曜日  
10時～14時

#### 対象者、参加費

平井小学校の子ども 無料  
大人 200円  
※金額の変更あり

#### 開始時期

令和2年9月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

肉、魚、寄付金、お菓子  
飲み物

#### ボランティア募集

中学生、高校生、大学生

クックくらがいけは、子どもが地域の調理室で料理を作り、家庭にて自分で料理が作れるようになることが目的の活動です。

地域の人々と交流し、調理・遊び・物づくり・学習を子どもたちが自分で考えて自分で行動をするための手助けができるよう進めたいです。子どもたちが少しでもホッとできる場所になるようにしたいです。

### 始めたきっかけは何ですか？

「子どもと一緒に食事を作り、楽しい時間が出来れば」と思いはじめました。私自身どこかさみしさを感じて育ちました。そんなこともあり、子どもたちが楽しく、自立できればいいなどの思ったのがきっかけです。

### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください


コロナ禍で当初の施設が使用できなくなり、開催場所が定まらず不安定な開始でした。また、開催案内チラシや告知も、あまり反響がなく子どもへの周知がとても大変でした。地道に声をかけたり SNS で発信をしました。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

フードパントリー活動(おすそ分け会)で、皆さまが食材を一杯抱え笑顔で帰られるときや、「これで、また生き延びられるよ」と声をかけられたり笑顔が見られるときにやりがいを感じます。コロナウイルスが落ち着いた令和3年12月5日より、調理を開始することができ子どもたちが喜んでるのがうれしくて、やってよかったなと感じました。今後も、子ども達の笑顔にふれ『毎回、参加したいな』と言ってもらえる活動に地域への理解を深めていきたいです。



### ホームページ・SNS

 184fnore

⑮

## JA 高橋テラスゆうきの会

《特徴・テーマ》

子どもたちにとって、安全安心な街づくりを目指して

### 実施概要

#### 運営者

JA 高橋テラスゆうきの会  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

あいち豊田農業協同組合ふれ  
あい振興部ふれあい中部セン  
ター  
(豊田市高橋町 2-94)

#### 開催日時

第 4 日曜日  
11時～13時30分

#### 対象者・参加費

寺部小学校の子ども 100 円  
大人 300 円

#### 開始時期

令和 3 年 4 月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

大学生

JA 高橋テラスゆうきの会では、美味しい食事を一緒に作るだけでなく、安全安心な街づくりや、未来を担う子どもたちの心と体の健全な成長・発達に貢献することも重要な使命だと考えています。

様々な地域貢献活動を積極的に展開していきます。

### 始めたきっかけは何ですか？

コロナウイルス感染禍中において、テレビ・新聞等で子どもの貧困家庭問題の記事を見るたびに、私の心が大きく動き、本当に困っている方々に何が出来るかを考えました。

向こう三軒両隣のおすそ分け活動が出来ないかと思い、中高年の方々に呼び掛けをしたところ、20 数名メンバーが集まり始めることができました。

### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

活動資金、食材寄付の不安定さを毎月どうやりくりをしようかと心配が絶えない月日でした。

助成金を申請して資金集めをしました。寄付の情報を多く受け取れるように SNS ができるメンバーと役割分担をしました。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

参加者からの「ありがとう」その一言に私たちボランティアの心を強く打たれました。



## ⑬ もぐもぐ子ども食堂

《特徴・テーマ》

**個性を活かして子ども・高齢者の方が1人でも参加できる**

### 実施概要

#### 運営者

もぐもぐ子ども食堂  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

県営美和団地集会所  
(豊田市美和町3-25)

#### 開催日時

第2土曜日  
10時～15時30分  
(夏休み、冬休みは月2回)

#### 対象者、参加費

県営美和団地に在住  
中学生まで 無料  
高校生以上 300円

#### 開始時期

令和3年5月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

小学生、中学生、高校生

もぐもぐ子ども食堂は、地域の多世代交流型、食育の場の提供を目的に活動しています。

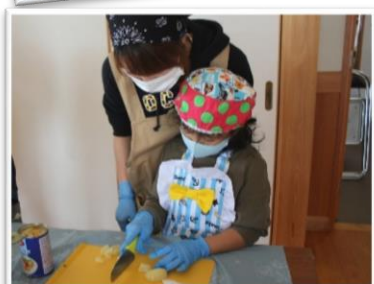
調理だけではなく、様々な事を一緒に体験したり自由に遊べるように工夫をして開催しています。子ども・高齢者の方が1人でも安心して参加でき、1人ひとりの個性を大切にして寄り添うことで、自分の「居場所」として気楽に立ち寄ってもらえるような雰囲気づくりをしていき、決まったところにある居場所として長く活動を続けていきたいです。

### 始めたきっかけは何ですか？

地域の子供から高齢者と様々な世代・国籍の方々が集まり、一緒に料理をして食事・片付け・遊びをすることによって、地域活性化・生きがいつくり・孤食対策へつながり、食べることの楽しさを感じてもらいたいと思い立ち上げました。子ども食堂に参加し、交流することによって顔見知りが増え、活動日以外の時でもコミュニケーションがとれるようなつながってほしいと思います。私の思いを話す中で賛同してくれた子育て世代・育児経験者などのメンバーと「もぐもぐ子ども食堂」として活動を始めました。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

調理実習の際に、初めて料理にチャレンジする子どもの嬉しそうな表情や達成を喜ぶ姿みるとき。また、行事食を取り入れていることもあり、参加してくれる他国の方々が日本文化に興味を示してくれることが嬉しいです。更に、帰り際に「ありがとう」「次はいつ？また来るね」と言って元気よく帰っていく姿を見て、やりがいを感じています。



### ホームページ・SNS



472valhv



mogmog.kodomosyokudou

## ⑰ 東山ぐうぐう食堂

《特徴・テーマ》

**家族以外の大人と関わり、幅の広い関係づくりを大切に**

### 実施概要

#### 運営者

東山ぐうぐう食堂  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

市営東山住宅内中央集会所  
(豊田市東山町2丁目)

#### 開催日時

- ①第1or2日曜日  
おすそわけ会  
16時～なくなり次第
- ②第3or4月曜日  
子ども食堂  
17時30分～18時  
30分

#### 対象者、参加費

美里中学校区に在住  
子ども 無料  
大人 寄付金

#### 開始時期

令和元年10月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
飲み物、食材、米、お菓子

#### ボランティア募集

小学生、中学生、高校生  
大学生、一般

東山ぐうぐう食堂は、地域の方々と共に、子ども達や高齢者の方を見守り、だれもが安心・安全な場となるような居場所づくりを目指しています。

誰もが来られる環境であることで、まわりに気づかれず、困っている、SOSを気軽に出すことができるからと考えています。また、子ども達にとって、家族以外の大人と関わりを持つことによって、幅広い関係づくりとなるように続けていきたいです。

### 始めたきっかけは何ですか？

子どもの居場所づくり事業を立ち上げ、1年過ぎて子ども達の日々の様子を会話からキャッチしたところ、1人で食事をしたり、帰宅の遅い親を待ったり、夕食をスーパーで買って食べていると知りました。「私たちにできることは何かないか？」と考え始めました。


### やりがいを感じる時はどんなときですか？

子ども達が開催を楽しみに待っていてくれる様子が見受けられたり、親御さんから「助かります」と話しかけると、とてもやりがいを感じます。また、地域の方からの野菜の寄付やお手伝いもとても嬉しく、見守られ、応援いただいていると感じます。

### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

場所の確保、道具（食器・鍋など）の保管場所などハード面で苦労しました。現在も保管場所の確保は課題になっているので、地域の方々にも協力を呼びかけるなど模索しています。

### ホームページ・SNS

 一般社団法人 いま・ここ

 imakokotoyota





## ⑱ ビストロスマイリング

《特徴・テーマ》

じいちゃん・ばあちゃんも活躍し、若者・子どもを助ける食堂

### 実施概要

#### 運営者

NPO 法人おんぶにだっこ

#### 開催場所

スマイリングキッチン LABO  
(豊田市美里5-17-5)

#### 開催日時

第2・4金曜日  
18時30分～20時30分

#### 対象者、参加費

どなたでも  
一食 500円  
※未就学児 無料

#### 開始時期

平成31年1月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
飲み物

#### ボランティア募集

65才以上のシニア、  
小学生、中学生、高校生  
大学生、一般

ビストロスマイリングは、料理の作り手を要介護認定を受けている高齢者にお願いすることで、役割を担ってもらっており、多世代交流の場にもなっています。ビストロスマイリングがあることによって、地域の子育て世代を中心とした方々をサポートし、地域がつながるきっかけになることを目指しています。

### 始めたきっかけは何ですか？

デイサービスを利用する高齢者の中には、働くことや活躍することにまだまだ意欲を持っておられる方がいます。また、とても器用におやつや料理を作ってくださいます。一方で、デイサービスで働くスタッフは、仕事が終わると「さあ、晩御飯を作らないと！」ともう一仕事しに行くように帰宅します。そんな場面を見ながら、高齢者が活躍できる場所と、高齢者だけではなく子育て世代や共働き世帯の方々にもホッと一息できる場所を作りたいと思い、この活動を始めました。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

食堂に来てくれた若者や子どもたちが、料理を作ってくれた高齢者と楽しそうに交流をしている姿を見たり、子どもたちが美味しそうに料理を食べてくれる表情を見ると、やってよかったと思います。

### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

料理を作ってくれる高齢者を募集することと、料理を食べに来てくれる人たちの両方を集めることが大変でした。今は、介護福祉士や看護師と一緒に料理のサポートをしていることが周知され始め、参加する高齢者の家族も理解をして、積極的に参加者を紹介してくれるようになりました。

### ホームページ・SNS

 スマイリング kitchen labo





## ⑱ さくらんぼ

《特徴・テーマ》

**食を共に！仲間づくりをして、本当の強さを学べる居場所**

### 実施概要

#### 運営者

さくらんぼ  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

益富交流館  
(豊田市志賀町稔台30)

#### 開催日時

第1・3日曜日  
11時～14時

#### 対象者、参加費

益富中学校区内在住  
小学生 100円

#### 開始時期

令和3年4月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

肉、寄付金

#### ボランティア募集

高校生、大学生、一般

さくらんぼでは、調理実習を通して子どもたちにいろいろなメッセージを伝えたいです。

活動を通して、子どもたちが様々な経験をしたり、メンタルが強くなることを期待しています。生活していく上で、皆さんが気軽に・元気に・笑顔で・生活できるお手伝いができるようなボランティアグループでありたいです。

### 始めたきっかけは何ですか？

時代が変わり、一番大切な道徳心を教える機会が少なくなって、学校も教育が薄れていっているような気がしました。地域の元気な子どもたちに、本当の強さとは「優しさや時には我慢することだ」ということを知ってほしいと思っています。また、思いやりについて学べる居場所づくりを目指しています。いじめる子ども、いじめられる子どものどちらにもならないよう、皆で話し合いもしようと思います。子どもたちの将来のために、今元気な先輩たち（高齢者）の力と経験を元に学校では学べないことを伝えていき、明るく、元気な子どもの育成になればと思います。小学校は違っても食を共にした仲間づくりをしながら、将来の思い出づくりができればと思っています。

### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

始めるにあたっては、とくに苦労はありませんでした。協力してくれる方が多くスムーズに立ち上げができました。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもたちが食事を真剣に作ってる様子。その後の手紙をもらったとき。

子どもたちと過ごせる時間を大切にしていこうと思っています。



## ②0 子どもとつくる10代子ども食堂「ゆるっとほっとかふえ」

《特徴・テーマ》

みんなとつくと楽しいね♪ みんなで食べるとおいしいね♪

### 実施概要

#### 運営者

ゆるっとかふえの会  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

末野原交流館  
(豊田市豊栄町 11-36-1)

#### 開催日時

原則第3日曜日  
13時～15時

#### 対象者、参加費

豊田市内に在住  
子ども 100円

#### 開始時期

平成29年1月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

寄付金、お菓子、飲み物



ゆるっとほっとかふえでは、子どもを主役にひとりひとり丁寧に見守り、困った時に安心して相談できる居場所を継続しています。

子ども自身が食でも自立できるよう調理実習をし生きるチカラを育てています。子どもの福祉、未来ある子ども達の安心した社会への巣立ちをサポートしています。

### 始めたきっかけは何ですか？

主任児童委員として9年間活動するなかで、さまざまな家庭環境の子どもたちと出会い、その子どもたちの未来を大切に、地域で顔の見える支援、見守りある居場所を作ることになりました。特に義務教育後の見守りが途切れがちな子どもたちを中心に、ゆるいつながりを保ちつつ見守りたいと思っています。

### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

平成29年1月の立ち上げ当時、子ども食堂がほとんどなかったため、目的や活動内容について理解していただくことに苦労しました。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

「ゆるっとほっとかふえ」に参加するごとに子どもたちの心がほぐれ、安心できる居場所となり、子どもがひとりでも参加できるようになった姿を見たときや、行政等へつなぐことで子どもの希望や夢が現実となり、歩み始めた子どもの背中を見たときです。

### ホームページ・SNS



ゆるっとほっとかふえ



10daikodomosyokudo

## ②1 あそびとくらしとまなびの家 ちゃぽっと

《特徴・テーマ》

人も資源も循環する場所『やりたい!』をカタチにする

### 実施概要

#### 運営者

あそびとくらしとまなびの家  
ちゃぽっと  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

空き家  
(豊田市豊栄町9-9 9-5)

#### 開催日時

第1・3月曜日  
10時~13時

#### 対象者、参加費

どなたでも カンパ制

#### 開始時期

平成30年6月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

小学生、中学生、高校生  
大学生、一般

ちゃぽっとは、あそこに行けば誰かに会える家、困ったとき助けてが言える家、子どもも大人も集いつながる家。人にも環境にも優しく、人も資源も循環する場を目指しています。

### 始めたきっかけは何ですか？

「子ども食堂を始めたい」からではなく、「地域で子育てしたい」「地域での暮らしを豊かにしたい」「多世代でつながり交流する場を作りたい」と多くの「やりたい」気持ちが重なって、居場所を作るために空き家を購入し、子どもだけでなく地域の方を対象に、カレーパーティーから始めました。


### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

地域の住民の方に理解してもらうことや周知の方法、資金調達は苦労しました。助成金申請で何度も心が折れそうになりました。自立を目標にしていますが、公的な支援を受けたことで、地域への周知や様々なつながりができました。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

参加者が笑顔で参加してくださるとき、「楽しかった!」と帰られるときです。また、「おたがいさま」という言葉が好きで、お年寄りが子どもを見て、笑顔になって、パワーをもらう。子どもは多くの人にふれあって心が豊かになる。そして、そのママは久しぶりに大人とゆっくりおしゃべりして食事をする。そんな空間が生まれたときです。地域活動は、ボランティアが軸に考えられがちですが、私たちのような地域での活動が仕事となり、若者が仕事を創り出せるようになる仕組みを作ることを目指しています!

### ホームページ・SNS

 あそびとくらしとまなびの家 ちゃぽっと



## ② 郷の里

《特徴・テーマ》

### 空き寺活用して、子どもも大人も心が安らぐあったかい場所

#### 実施概要

##### 運営者

アイムホーム  
(ボランティアグループ)

##### 開催場所

問合せください

##### 開催日時

第1・3木曜日  
13時～15時

##### 対象者、参加費

上郷中学校区内に在住  
子ども、大人 無料

##### 開始時期

平成30年6月

#### 支援・寄付のお願い

##### 寄付のお願い

寄付金、お菓子、飲み物



温かい居場所や人との出会いの中で、子どもが自分を認め、自分らしさをみつけながら社会とつながり、生きていこうとする力を育む。郷の里が、ほんの一助となればという思いで活動しています。

食事は、子どもの希望メニューを取り入れ、温かい食事を囲みゆったりと過ごせるようにしています。

#### 始めたきっかけは何ですか？

仕事を退職し地域に目を向けたときに、学校へ通えずにいる子どもの存在を知り、そんな子どもや家庭に手を差し伸べられたらと思いました。引きこもりがちな子どもが家から一歩出て、社会とつながり心がやすらぐ居場所を作りたいと思ったことがきっかけです。

#### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

立ち上げ当初より、市役所福祉総合相談課と学校の協力やアドバイスを受けられたことや、立ち上げ資金を東名ライオンズから、食材提供をやまのぶ上郷店から受けることができました。また、地域の理解を得られ、活動場所の確保もできました。大変幸運でした。ただ、活動継続のための資金確保は今後の課題です。

#### やりがいを感じる時はどんなときですか？

子ども達が思い思いに好きなことをしたり、ボランティアとおしゃべりをしたりするなかで見せる笑顔や、安らいだ表情に出会ったとき、親御さんの安心した姿を見たときは嬉しさとやりがいを感じます。私たちが元気をもらっています。子ども達が自分の好きなことをするなかで、心が穏やかになるような雰囲気づくりに努めています。複雑な思いのなかで頑張っている親御さんの姿に寄り添い、共感しながら話を聞いていく時間を大事にしていきたいです。



②③

## 柘塚西町多世代交流サロン型子ども食堂

《特徴・テーマ》

### 地域の子どもと大人が集まるふれ合いの場

#### 実施概要

##### 運営者

柘塚西町ささえ愛隊  
(ボランティアグループ)

##### 開催場所

柘塚西町 児童館  
(豊田市柘塚西町南山97-1)

##### 開催日時

不定期  
9時30分～12時

##### 対象者、参加費

上郷中学校区内に在住  
親子 100円

##### 開始時期

平成30年8月

#### 支援・寄付のお願い

##### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

##### ボランティア募集

小学生、中学生、高校生  
大学生、一般

柘塚西町多世代交流サロン型子ども食堂は、地域の多世代の人々と交流する会です。

五平餅づくりなどイベントを取り入れています。

#### 始めたきっかけは何ですか？

地域みんなの「居場所づくり」をしたかったからです。

多世代交流サロンで、地域住民どなたでも参加出来る会を作り、高齢者と子どもたちとのふれ合いの場になっています。

#### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

挨拶も希薄になった今、地域の子もたちと接するイベントをどんな風に行ったら良いのか悩みました。

また、参加者の家族へ理解を得るために周知していくことが大変でした。

地域の様々な関係者や団体と、コミュニケーションを図りながら理解を求めました。コロナ禍なので、様子を見ながら感染対策をして活動をします。

継続的に、子どもたちと接する機会を増やしたいと思います。

#### やりがいを感じる時はどんなときですか？

参加者の笑顔に出会えたときや、子どもたちがイキイキと高齢者とのふれ合いをしているとき。

また、みんなで楽しく過ごせたときはやりがいになります。





## ②4 こども食堂 さんぽみち

《特徴・テーマ》

みんなで、楽しくおいしく調理をしよう！

### 実施概要

#### 運営者

一般社団法人天使のかけはし

#### 開催場所

カフェ癒し空間

AngelMother

(豊田市若林西町松間 20-1)

#### 開催日時

第4土曜日

16時～19時

※開催日、変更あり

#### 対象者、参加費

高岡中学校区内に在住

子ども 無料

#### 開始時期

平成30年9月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金

お菓子、飲み物、学用品

#### ボランティア募集

大学生、一般

さんぽみちは、子どもが必要な支援を受けられるように、様々な相談ごとのできる居場所を目指しています。そのため、安心できるように家庭的な雰囲気を作っています。日々の生活の困り事などコミュニケーションを取りながらかかわっています。

### 始めたきっかけは何ですか？

一般社団法人「天使のかけはし」として、不登校支援を行っていて、居場所づくりや人の関わりに興味を持ちました。子ども食堂のあり方について、考えさせられ始めました。

### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

地域の方の理解を得ることに現在も苦労しました。少しずつですが地域とのつながりができてきたので、今後はもっと地域の理解を得て、協力をいただけるように努めたいです。また、支援を必要としている子どもへ周知することの難しさも感じています。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

毎回楽しみに来てくれる子どもがいること。また、ボランティアメンバーが楽しそうに参加してくれていると嬉しいです。

### ホームページ・SNS



一般社団法人天使のかけはし



こども食堂 さんぽみち



## ② エンジェル子ども食堂

《特徴・テーマ》

### 老若男女、関係なくだれもが集える空間づくり

#### 実施概要

##### 運営者

エンジェル  
(ボランティアグループ)

##### 開催場所

カフェ癒し空間  
AngelMother  
(豊田市若林西町松間 20-1)

##### 開催日時

第3土曜日  
16時～18時

##### 対象者、参加費

どなたでも 無料

##### 開始時期

令和4年4月

#### 支援・寄付のお願い

##### 寄付のお願い

肉、寄付金、お菓子  
飲み物

エンジェル子ども食堂は、子どもが1人で参加して悩みを打ち明けられるような空間をつくり、老若男女・様々な年齢の人が集うことのできる場所を目指しています。

#### 始めたきっかけは何ですか？

対象者を限定した子ども食堂を身近でみていて、「地域の方が集える場所があったらいいな」と思ったことがきっかけで食事の提供をしています。

#### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

活動を長く続けていくために、食材の確保をしていくことの難しさも感じています。特に、子どもが好きなお肉のような冷蔵品などが定期的に寄付があると嬉しく思います。

#### やりがいを感じる時はどんなときですか？


子どもたちの楽しそうにしている姿をみたり、楽しそうにしている声を聞いたときです。

コロナウイルス感染対策で、密にならないように工夫をしているので『誰でも参加できるように』と思っている反面、人数の制限をして思うように活動ができていない事が残念です。

まだ、開催して日が浅いため誰でも参加できるような雰囲気をつくるために試行錯誤をしています。



#### ホームページ・SNS

 エンジェルマザー

## ②6 前林ひまわり食堂

《特徴・テーマ》

### 虫取りや農作業、魚釣り 目指せ！体験型おっさん食堂

#### 実施概要

##### 運営者

前林発展会  
(ボランティアグループ)

##### 開催場所

つつみ食堂  
(豊田市堤本町本地5)

##### 開催日時

第4土曜日  
11時～14時

##### 対象者、参加費

前林中学校区内に在住  
子ども 100円  
大人 200円以上

##### 開始時期

令和3年5月

#### 支援・寄付のお願い

##### 寄付のお願い

魚、お菓子、飲み物

##### ボランティア募集

中学生、高校生、大学生

前林ひまわり食堂は、前林地域を面白くしたいと集まった有志のおじさん集団“前林発展会”が運営しています。食事提供や食材配布だけでなく、子どもと一緒に楽しめる虫取りや農作業、魚釣りなど体験型のおっさん食堂を目指しています。

#### 始めたきっかけは何ですか？

地域に活気がなくなり人口も減少してきて、我々の年代で何か地域のためになることができないかを皆で話し合っ、まずは子ども食堂をやってみよう決めました。


#### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

本当に困っている子どもが地域にいるのか分からなかったため、立ち上げる必要があるのかどうか判断に困りましたが、豊田市役所福祉総合相談課に相談したら色々なことが分かり、進むべき方向性が少しずつ見えてきました。

#### やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもたちが本当に嬉しそう、大きな声で“ありがとう”と言ってくれたときは、やって良かったと思います。本当に困っている家庭に支援が届くように、多くの方に知ってもらえるような周知方法を工夫していきたいと思っています。

#### ホームページ・SNS

 439vrjcm



## ②7 おおぞらランチ

《特徴・テーマ》

できることから開始！個別の支援から子ども食堂へ

### 実施概要

#### 運営者

おおぞら若園  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

若園交流館  
(豊田市花園町塩倉 28-9)

#### 開催日時

第1土曜日  
10時～15時  
※開催日時変更あり

#### 対象者、参加費

若園小学校の子ども 100円  
大人 300円  
※対象者は、要相談

#### 開始時期

令和2年3月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

肉、魚、寄付金、お菓子  
飲み物

#### ボランティア募集

中学生、高校生、大学生

地域子どもたちが気軽に行く事ができる居場所づくりを目的に、子ども食堂「おおぞらランチ」の活動をしています。

地域子どもたちのために何かしたい仲間が集まり結成した“おおぞら若園”が主催しています。

### 始めたきっかけは何ですか？

地域に困っている子や、困っている家庭があることを知り、地域子どもたちのために何かしたいという思いでボランティアが集まりました。最初は、個別の支援で学校の登校に付き添いをするなど、できることから始めました。メンバーのなかに、料理が好きな方がいたことをきっかけに、子どもたちを誘い、一緒に料理をして食事をする子ども食堂を始めました。

### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

拠点となる場所が見つからず、3地区を転々としながら施設を借りて活動をしました。開催する場所によって、駐車場が狭かったり食器がなかったりして苦労しました。今後は、拠点を決めて、いつでも子どもたちが来られるように子ども食堂を開催したいです。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

子ども達が、楽しそうに調理している姿を見ると嬉しいです。それだけでなく、地域の方や企業が活動を知って食材の支援やボランティアとして協力してくれることも、私たちボランティアのやりがいになっています。





## ②⑧ チーム トジャク

《特徴・テーマ》

### 高校生が中心で活躍している子ども食堂

#### 実施概要

##### 運営者

名鉄学園 杜若高校  
子どもサポートプログラム

##### 開催場所

名鉄学園 杜若高校  
(豊田市平戸橋町波岩 87-1)

##### 開催日時

不定期

##### 参加費

井上小学校の子ども 無料

##### 開始時期

令和元年9月

#### 支援・寄付のお願い

##### 寄付のお願い

お菓子



チーム トジャクでは、高校生が、地域の子どもたちに向けてイベントを開催し、高校と地域との交流の場を作ることを目的としています。

#### 始めたきっかけは何ですか？

将来子どもと関わっていきたい学生を対象としている子どもサポートプログラムで、子ども食堂として何かできないかと思い始めました。

#### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

子ども食堂について学ぶことから始め、学校としてどのように関われるかを悩みました。

立ち上げ前に、子ども食堂ネットワーク交流会に何度か参加し勉強をしました。

#### やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもが嬉しそうに帰っていく姿を見たときや、最初は緊張していた子どもが慣れて仲良く遊ぶことができたときです。

また、高校生が自分たちで計画したものを子どもに喜んでもらったときはやりがいを感じます。

今後は、自校開催のみでなく市内子ども食堂に高校生ボランティアとして、参加もしていけたらいいなと思っています。

#### ホームページ・SNS



<http://www.tojaku-h.ed.jp/>

## ②9 朝ごはん子ども食堂

《特徴・テーマ》

「いってらっしゃい」と子どもを送り出す朝ごはん子ども食堂

### 実施概要

#### 運営者

NPO 法人トルシーダ（保見プロジェクト）

#### 開催場所

県営保見自治区集会所  
（豊田市保見ケ丘4-1）

#### 開催日時

毎週金曜日  
7時～7時30分

#### 対象者、参加費

どなたでも 無料

#### 開始時期

令和2年10月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物

#### ボランティア募集

高校生、大学生、一般

朝ごはん子ども食堂では、毎週金曜日の朝、学校へ登校する前の子どもたちと朝ごはんを食べています。孤食を防ぎ、地域で子どもを育てる仕組みを作りたいです。

### 始めたきっかけは何ですか？

近隣小学校から、朝ごはんを食べてこない子どもが多く勉強に集中できていないという声、子ども会がなく、通学団も比較的（保護者の送迎も多い）で、地域の子どもたちの顔が見えない、親が早く仕事に行くため、朝から一人で学校に行く準備、朝ごはんを食べる子どもがいる、などの課題から、学校に行く前に子どもたちが集まり、朝ごはんを食べ、地域の住民に「いってらっしゃい」と送り出されることで、地域が明るくなるきっかけになればいいと思い始めました。

### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください


助成金の申請。気持ちや寄付だけでは立ち上げ運営はできないため、助成金を申請して運営費としています。周知が広がり住民同士の互助で運営できるのが理想です。経験がなかったため、法律面、衛生面の注意事項などが分からず調べたり聞いたりしました。


今はプロジェクトスタッフで運営していますが、今後は住民が参加し運営していける仕組みを作りたいです。また、土日などの昼にイベントと合わせて開催したいです。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもがおいしそうに、また楽しそうに朝ごはんを食べているとき。「次のメニューは？」「次はこれがいい！」と子どもたちが言ってくれるときにやりがいを感じます。

### ホームページ・SNS

 保見アートプロジェクト Homi projeto de arte

 homipda



《特徴・テーマ》

本格的なパンづくり体験ができる子ども食堂

実施概要

運営者

十人十色  
(ボランティアグループ)

開催場所

自宅または藤岡交流館  
※問合せください

開催日時

2か月に1回 不定期  
13時～16時30分

対象者、参加費

藤岡中学校区内に在住  
子ども、大人 100円

開始時期

平成31年4月

支援・寄付のお願い

寄付のお願い

寄付金  
飲み物、強力粉  
トッピングの材料  
(ハム、ベーコンなど)

ボランティア募集

高校生、大学生、一般

RAINBOW カフェは、学校に行きづらい子どもとその家族を対象に自分らしく過ごせる居場所を目指し活動しています。

多世代の方との交流の場、それぞれの個性が認め合える場でパン作りを楽しんでもらえるよう少人数制で開催しています。

始めたきっかけは何ですか？

5年前から自身の経験を活かしながら不登校支援をやってきました。子どもについて、ご家族から相談を受けているなかで、家庭だけでは解決できない問題もあると思いました。子どもが家族以外の地域の方と関わることができる場所があると良いのではないかと思ったのが始まりです。パンづくりなら、決まった作業をもくもくと進められるので、無理に話をしなくて良いところも魅力だと思ってます。

立ち上げ時に苦労したことを教えてください

立ち上げたときに、困ったということは特別ないです。新型コロナウイルスの影響でとても活動しにくいです。

やりがいを感じる時はどんなときですか？

子どもたちが、楽しんでパン作りをしている中で、笑顔が見られるときに嬉しくなります。子どもが元気だと親御さんも元気になります。

今後は、少しずつ活動日を増やし、料理やお菓子作りなど幅を広げていきたいと思っています。

ホームページ・SNS

 <https://coubic.com/junintoiro>



## ③1 ふじおか子ども食堂

《特徴・テーマ》

自分で作ってみんなで食べるってすごい！！

### 実施概要

#### 運営者

ふじおか子ども食堂  
(ボランティアグループ)

#### 開催場所

JA グリーンセンター藤岡店  
調理室  
(豊田市西中山町稲場 161-1)

#### 開催日時

2か月に1回 不定期  
10時30分～13時

#### 対象者、参加費

西中山小学校4～6年生  
子ども 100円

#### 開始時期

令和4年7月

### 支援・寄付のお願い

#### 寄付のお願い

野菜、肉、魚、寄付金  
お菓子、飲み物、果物

ふじおか子ども食堂は、地域の急激な人口増加のなかでの多世代交流の場として家でも学校でもない地域の居場所づくりを目指しています。

### 始めたきっかけは何ですか？

愛知県は、1日の野菜摂取量が全国最下位であることを知りました。もっと野菜に興味をもってもらい藤岡の畑で育った野菜たちを使ってみんなで作ってみんなで食べることができれば嬉しいなと思い立ち上げました。


### 立ち上げ時に苦労したことを教えてください

開催場所探しや参加者募集に苦労しました。また、子ども食堂はご飯が食べられないような子どもが行くところというイメージが強いので、そのイメージを払拭するために、交流館祭へ参加して子ども食堂について住民に説明する機会をつくりました。

### やりがいを感じる時はどんなときですか？

初回を開催して、子ども達が笑顔で参加してくれたことや親御さんからの温かいメッセージをいただき嬉しかったです。ボランティア活動に協力を申し出て下さる方が多いこともやりがいを感じます。。

### ホームページ・SNS

 485zvehy





# 始めてみたい!と思った方へ

「子ども食堂を始めてみたいけどできるだろうか?」と悩んでいる方は、豊田市社会福祉協議会（以下、社協）へ相談しましょう。

## 子ども食堂の立ち上げ方



ここでは開催までのステップの一例を簡単にご紹介します。

- STEP1** どのような子ども食堂を始めたいたのか明確にし、いろいろな子ども食堂の見学をしよう
- STEP2** 始めてみたい活動のイメージを作り、中心となるメンバー探しをしよう
- STEP3** 参加者が集まりやすい会場や、無理のない範囲で続けられる開催頻度・対象者などを決めて具体的に企画しよう
- STEP4** なぜ子ども食堂を始めるのか、趣旨や目的を明確にしてメンバー内で共有をしよう
- STEP5** チラシを作成し、地域・関係機関と調整をしよう
- STEP6** 参加者を募集し、実施に向けて準備しよう
- STEP7** 子ども食堂開催
- STEP8** 実施後、次回の開催をより良くするためにメンバー内で意見交換をしよう

## 活動するうえで注意するポイント

- 1 安心、安全な環境づくりを心掛けましょう
- 2 調理をする際は、保健衛生のルールを守りましょう
- 3 万が一に備え、保険に加入しましょう

# 支援してみたい!と思った方へ

子ども食堂の活動を続けていくために、「人と人とのつながりが大切にしていないか?」と悩んでいる方は、社協へ相談しましょう。

## 子ども食堂への支援



### 子ども食堂へ「支援してみたい!」と思った方へ

本冊子掲載にある各子ども食堂の「支援・寄付のお願い」を参考に、各団体が必要としている支援や寄付を確認してみましょう。支援がしたいと思ったら、社協へ相談してみましょう。

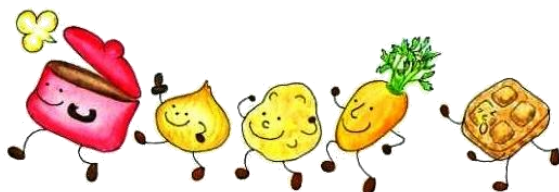
#### 【寄付の例】



## とよたこども食堂ネットワークとは?

市内子ども食堂の代表者を中心に、「とよたこども食堂ネットワーク」が設立されました。市内子ども食堂が加入しています。主に、寄付（食材や資金など）の受付、保管、分配や代表者へ情報発信をしています。詳細は、社協へ問合せください。

ます。「子ども食堂へなにか協力ができ



## 子ども食堂への支援



子ども食堂は、ボランティアの協力や寄付などの支援によって支えられています。支援をする前に、参加や見学をすることもできます。

## ボランティアとして「協力してみたい!」と思った方へ

本冊子掲載の紹介やSNSなどで団体の概要を確認し、ボランティア募集している子ども食堂のなかから、参加してみたい子ども食堂を見つけて社協に相談をしてみましょう。

## 子ども食堂についての相談窓口



豊田市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒471-0877 豊田市錦町1丁目1番地1

電話 0565-31-1294 FAX 0565-33-2346



## とよたの子ども食堂

---

令和4年10月 更新  
社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 共生推進課  
〒471-0877  
豊田市錦町1丁目1番地1 豊田市福祉センター内  
TEL 0565-31-1294 FAX 0565-33-2346  
メールアドレス vc@toyota-shakyo.jp

---

こちらの冊子は、子どもの健全な育成を支援する取り組みを応援するためにいただいた寄付金を原資とした「豊田市社会福祉協議会子ども基金」を活用しています。